

代表質問通告内容一覧【平成27年3月定例会：3月4日（水）】

No.1/5

順番	会派名及び 質問議員名	質 問 事 項
1	爽改いさはや 島田 和憲	<p>輝くひとづくり (1)こころ豊かなひとづくり 新野球場建設が市活性化に与える影響は大きく、地元経済の活性化や人の集積効果、市のシンボルとなりえる効果もあり、活力につながる影響は大である。スポーツの振興に繋がる施設建設と効果をさらに得るための視点から次の件について問う。 ア 新野球場設計のコンセプト等を問う イ 新野球場が与える影響等を問う</p>
		<p>暮らしの充実 (1)快適な暮らし ア 「空家等対策特別措置法」が成立し、2月末に指針、5月末にガイドラインが示され、その後市は、国の基本指針に即した空家等対策計画を策定することとなるが、現状把握している空き家についての情報収集や情報の共有、また、関係部局の対応等について問う イ 空き家を活用した人口減少対策に繋がる定住促進の広報対策等について問う</p>
		<p>市民主役のまちづくり (1)協働のまちづくり 地域づくり協働事業は各地域において独自の事業に取り組んでいるが、その効果等をどのように評価しているのか。また、課題等はないのか問う。 (2)未来に続くまちづくり ア 公共施設管理計画については進捗中であるが、今後のスケジュールについて問う イ 平成27年度からのふるさと納税への取り組みの経緯等を問う</p>
2	明政クラブ 並川 和則	<p>輝くひとづくり (1)こころ豊かなひとづくり テニス場については、久山港埋立地の断念はやむを得ないと思う。次の候補地の具体的な考えはあるか。</p>
		<p>活力ある産業づくり (1)魅力ある農林水産業 健康的なウォーキング森林レクリエーション場を西部地区にも整備する考えは</p>
		<p>暮らしの充実 (1)快適な暮らし 地域幹線道路網整備で国道34号（諫早北バイパス）の4車線化に対し、県、国への要望の考えは</p>

順番	会派名及び 質問議員名	質 問 事 項	
3	市民ネット諫早 西口 雪夫	1	<p>市政運営についての所信</p> <p>(1)若者の定住・雇用促進のための、長崎ウエスレヤン大学、長崎総合科学大学との連携協定の具体的な取り組みは</p> <p>(2)40戸連たん制度等の開発許可基準のさらなる緩和と本市独自の地区計画制度の周知に関して、地元説明会の開催予定は</p> <p>(3)県央県南広域環境組合における長崎地裁の判決に対し、控訴のうえ高裁の場で和解を目指す方針が出されたが、その理由と今後の見通しについて、構成市の市長としてどう思うか</p>
		2	<p>活力ある産業づくり</p> <p>(1)魅力ある農林水産業</p> <p>ア 認定農業者や集落営農組織への支援のほか、新規就農者への支援はできないか</p> <p>イ 酒米産地支援事業の今年度の実績と来年度の規模拡大の予定は</p> <p>(2)新たな産業活力の創出</p> <p>新たな産業団地を長田地区、高来及び小長井地域の諫早東部地域に誘致できないか</p>
		3	<p>暮らしの充実</p> <p>(1)快適な暮らし</p> <p>ア 空き家を利用した定住促進支援を行うとあるが、どのような支援策か</p> <p>イ 生活基盤整備事業及び地域リフレッシュ事業を引き続き実施とあるが、予算の増額はできないか</p>
4	結 の 会 土井 信幸	1	<p>市政運営についての所信</p> <p>(1)「まち・ひと・しごと創生」について</p> <p>地域創生には雇用創出と人材育成が重要と思う。諫早市の周辺部は雇用の場も少なく、人口減少も激しく寂れ方がひどいようだが、今度の施策に対する期待は大きい。地域に必要とされる「ひと」を還流させるための対策と雇用創出などの計画的な取り組みに対する考えを伺う。</p>
		2	<p>活力ある産業づくり</p> <p>(1)交流が育てる観光・物産</p> <p>昨年の「長崎がんばらんば国体・長崎がんばらんば大会」の開催効果を持続させるため、市内に宿泊を伴うスポーツ大会や合宿、コンベンション等を開催する主催者に対する助成金の交付要件を緩和したいとのことだが、現在の交付要件と利用状況、そして今後の緩和策と見通しについて問う</p>
		3	<p>市民主役のまちづくり</p> <p>(1)協働のまちづくり</p> <p>地域審議会が今年3月をもって設置期限を迎える。地域の意見を聴くには大事な組織であった。今後、地域の声を聴き、市政に反映させるためには何らかの手段が必要と思うが、市長の考えはどうか。</p> <p>(2)未来に続くまちづくり</p> <p>「まちづくり懇談会」が毎年各地域で開催されている。この懇談会は行政と市民の垣根を取り払う意味では成果が上がっていると思う。今年度は国体の対応のため休止されたが、来年度以降は再開されることとなる。さらなる成果を引き出すための改善策は考えていないか。</p>

順番	会派名及び 質問議員名	質 問 事 項	
5	新生クラブ 南条 博	1	市政運営についての所信 (1)地区計画制度の運用基準の目的と内容を問う (2)市街化調整区域と農業振興地域の規制緩和策を具体的に問う (3)中井原風致地区の種別が変更されたが、規制を撤廃する考えはないか
		2	輝くひとづくり (1)こころ豊かなひとづくり 久山港埋立地のスポーツ・レクリエーション施設用地について外周道路のアクセスと渋滞緩和策について問う
		3	活力ある産業づくり (1) 魅力ある農林水産業 ア 森林整備の現況と課題について問う イ 間伐や枝打等による森林保全及び木材搬出等の推進に係る支援策について問う ウ 花粉症に悩まされる人が増加していることから、花粉の少ない森林への整備対策を問う
6	公明党 松岡 眞弓	1	市政運営についての所信 (1)「地方人口ビジョン」「地方版総合戦略」の策定体制を問う 「諫早市まちづくり総合戦略推進本部」が設置され、長崎ウエスレヤン大学、長崎総合科学大学と連携協定を締結され「学」との連携をなされた。即効性・実効性を高めるために、経済・産業・労働・福祉・情報関係などを入れた組織の考えはないか。また、まちづくりを協議、推進している団体との調整はどう考えているか。 (2) 国の補正予算活用の「地方創生先行型事業」について問う ア 「地域しごと支援事業」の事業内容と目的は イ この予算で商店街の空き店舗を活用して、新規事業支援の体制を作る考えはないか
		2	輝くひとづくり (1) 健やかなひとづくり ア 「森のようちえん全国交流フォーラム」について、21世紀の諫早の子育て・教育のビジョンと捉え、まず「森のようちえん」とはどんなものか。イベント後の推進体制及び「こどもの城」の役割を問う。 イ 全小学校に設置する「イングリッシュルーム」活用体制と国際理解教育の推進方法を問う
		3	暮らしの充実 (1) 支え合う暮らし ア 「第6期介護保険事業計画」の認知症の早期発見、早期診断、早期対応の体制づくりについて問う イ ピロリ菌検査の方法及び周知と「がん教育」について問う

順番	会派名及び 質問議員名	質 問 事 項
7	新風クラブ 松本 正則	<p>市政運営についての所信</p> <p>(1)諫早駅周辺整備事業は用地補償や自由通路、再開発ビルの設計に着手したいとしているが、現在の状況と今後の事業推進に対するスケジュール的な考え方について伺う。また、諫早駅周辺整備事業について様々な要望や考えなどがあると思う。説明会の実施などを通じ、市民の声をどのような方法で反映させていく考えかを伺う。</p> <p>(2)国営諫早湾干拓事業は最高裁の決定により、開門してもしなくても国が制裁金を払い続けるという事態が続くことが確定した。これまで同様、防災、農業、漁業、環境の観点から、市民の安全・安心を守ることを第一に考え、県や関係団体とともに適切に対応していくとしているが、具体的な行動や対応としてどのように進めていくのか。また、裁判という形での決着しかないとすれば、この先、時間がかかり過ぎても何も良い結果にならないと考える。いち早く最高裁での決着に向けて、はっきりすべきであると考えている人も多いと思うが、より良い手段はないのか伺う。</p>
		<p>輝くひとづくり</p> <p>(1)健やかなひとづくり</p> <p>ア 「森のようちえん全国交流フォーラム」開催を支援し、子どもたちの生きる力を培う取り組みを進めるとしているが、そのための計画作成や人員配置、予算措置など具体的には、今後どのように進めていく考えなのか伺う</p> <p>イ 子ども・子育て支援新制度の本格施行に伴い、子ども・子育て支援事業計画の推進に取り組むとしているが、その計画のあらましや諫早市の独自性など、どのような方針によって進めていくのか伺う</p> <p>ウ 児童生徒の学力の向上について、基本的・基礎的な学習内容の確実な定着や学習意欲の向上を図るため、退職教職員等を学習サポーターとして配置し、効果的に支援としているが、さらなるサポーターの拡大も視野にいれて進めていくのか伺う</p>
		<p>暮らしの充実</p> <p>(1)安全安心な暮らし</p> <p>本明川ダム建設事業は、治水対策等に必要不可欠であり、引き続き整備促進、早期完成を図るとしているが、必要不可欠とする内容を今一度市民に説明し、理解促進を図っていただきたいと考えることから、何らかの方法を考えているのか。また、早期完成に向けての協議等を今後どのように進めていくのか伺う。</p>

順番	会派名及び 質問議員名	質 問 事 項
8	日本共産党 西田 京子	<p>1 市政運営についての所信</p> <p>(1)希望と安心のまち・自立できる都市の実現に向けての取り組みは</p> <p>ア 子ども医療費助成制度の拡充の考えはないか</p> <p>イ 障がい者医療費助成を現物給付にする考えはないか</p> <p>ウ 無料低額診療事業を実施する考えはないか</p> <p>(2)九州新幹線西九州ルートについて 「新幹線はいらない」という市民の声をどう受け止めるか</p> <p>(3)国営諫早湾干拓事業について 早期開門を求めるが見解は</p>
		<p>2 輝くひとづくり</p> <p>(1)健やかなひとづくり</p> <p>ア 「森のようちえん全国交流フォーラム」について これまで他市で開催されたフォーラムに参加したのか。また、市の子育て支援策にどう活かされたのか。</p> <p>イ 児童生徒の学力向上について 児童生徒が安心して学べるための就学援助制度を充実させる考えはないか</p>
		<p>3 暮らしの充実</p> <p>(1)支え合う暮らし 高齢者支援の施策について</p> <p>ア 福祉用具購入費、住宅改修費への支給を受領委任払いにする考えはないか</p> <p>イ 高齢者へタクシー券を発行する考えはないか</p> <p>(2)安全安心な暮らし 本明川ダム建設事業は必要か</p> <p>(3)快適な暮らし 空家等対策計画と空き家を活用した定住促進支援の方策について 計画を問う</p>
計	8会派 (8人)	